



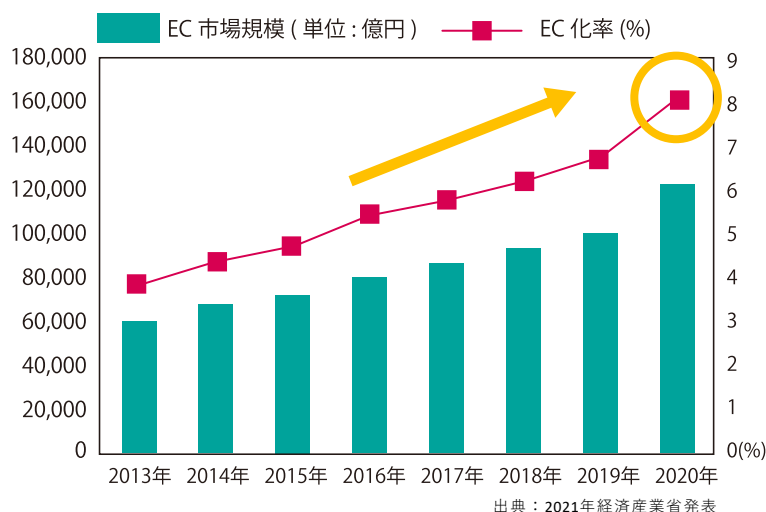
賃貸オーナー様必見!!
なぜ? いま、宅配ボックス

全国版
基本データ編

宅配ボックス大調査!

データ1

BtoC-EC市場規模およびEC化率の経年推移



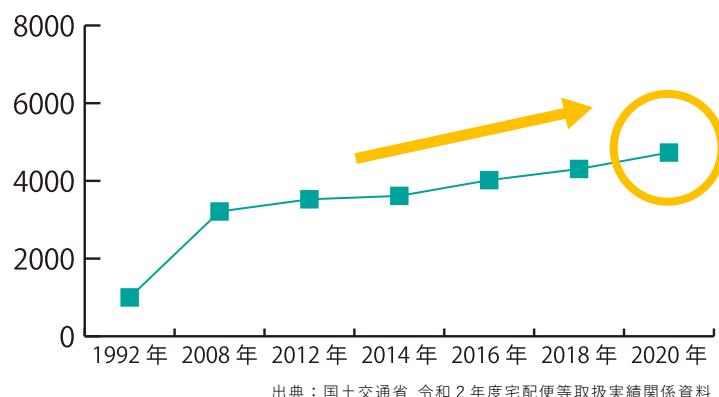
EC市場規模は
8年間で2倍以上に急拡大

日用雑貨から、衣服などのアパレル品、食品家電など、あらゆる物がインターネットで手軽にお得に買える時代に突入しました。



データ2

宅配便個数 (単位: 百万個)



2020年には宅配便取扱個数が
48億個を突破!

コロナ渦でネット通販は日用品を購入する日常手段となり、今後も増加する傾向にあります。

データ3

2021年の再配達率

	2021年10月 (調査期間: 2021/10/1 ~ 10/31)		
	総数	再配達数	再配達率
都市部	979,872	127,031	13.0%
都市部近郊	1,500,622	169,903	11.3%
地方	145,449	15,175	10.4%
総計	2,625,943	312,109	11.9%

出典: 2021年国交省発表

2021年の再配達率は11.9%
緊急事態宣言解除で微増



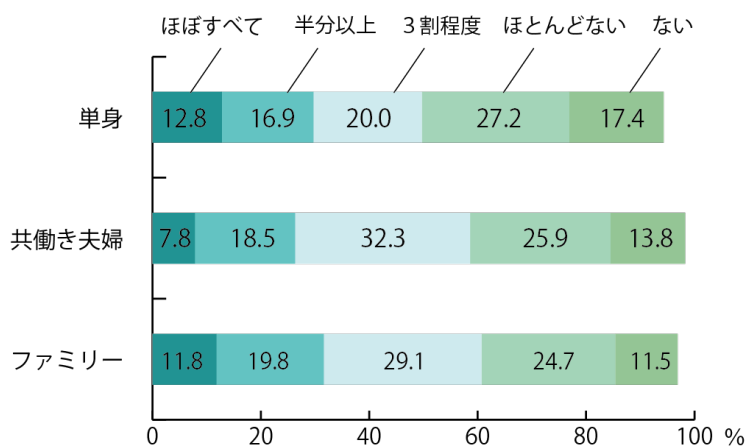
コロナ渦でのECサイト利用者の活性化・急増もあり、人手不足の宅配業界では更なる対策が必須となっています。
再配達の有料化もいよいよ現実味を帯びてきています。



賃貸オーナー様必見!! なぜ？いま、宅配ボックス

データ4

宅配便の再配達の頻度（世帯構成別）※



※宅配便の再配達の頻度より、単身・共働き夫婦・子どものいるファミリー世帯を抜粋
※ファミリー世帯は、夫婦ともに就労、いずれかのみ就労を合算して算出

出典：再配達問題に関する世論調査 内閣府政府広報室(2018年10月26日～11月5日)

共働き夫婦、ファミリー世帯で 再配達の利用が高い傾向に

単身者で約50%、共働き夫婦、子どものいるファミリー世帯で約60%と、**再配達**が頻繁に利用されている実態が浮き彫りになっています。
とくにファミリー世帯では60%以上にも及んでいます。



データ5

再配達を減らすために、効果的と思う取組（上位5位）

コンビニ等での受取の促進	46.8%
自宅用の宅配ボックスの設置の促進	42.4%
再配達の有料化	27.0%
宅配事業者や通販事業者のWEB、アプリ等を活用した配達日時や受取場所の指定・変更手続きの簡素化	23.0%
鉄道駅等の公共スペースへの宅配ロッカーの設置の促進	19.1%

出典：再配達問題に関する世論調査 内閣府政府広報室(2018年10月26日～11月5日)

宅配ボックスの設置が効果的 女性からの支持高く

自宅や公共スペースへの宅配ボックス・ロッカーの設置が効果的と回答した割合は合計で61.5%と高く、「**自宅用の宅配ボックスの設置の促進**」を挙げた割合は女性で高く*なっています。

*男性39.8%に対し、女性44.7%

データ6

この設備があれば周辺相場より家賃が高くても決まる TOP10

単身者向け 一人	ファミリー向け 三人
1位 インターネット無料	1位 インターネット無料
2位 宅配ボックス	2位 エントランスのオートロック
3位 エントランスのオートロック	3位 宅配ボックス
4位 高速インターネット	4位 システムキッチン
5位 浴室換気乾燥機	5位 追い炊き機能
6位 独立洗面台	6位 ホームセキュリティ
7位 システムキッチン	7位 浴室換気乾燥機
8位 24時間利用可能ゴミ置き場	8位 高速インターネット
9位 防犯カメラ	9位 ガレージ
10位 ウォークインクローゼット	10位 24時間利用可能ゴミ置き場

出典：全国賃貸住宅新聞(2021年10月18日発行)

賃貸住宅の人気設備として 上位にランクイン

毎年の人気設備ランキングでも、ここ数年、上位にランクインする宅配ボックス。改善を見せない宅配クライシスの解決策のひとつとしても注目を浴び、**必須アイテム**となっていくことが予想されます。

ニーズの高まるいま、導入を検討してみてもいかがでしょうか？

